

テロの根絶をねがい、報復戦争と 自衛隊派兵新法に反対する請願

(請願趣旨)

多数の市民を無差別におそったアメリカでの同時多発テロは、絶対に許すことのできない犯罪行為です。世界の平和と安全のために、テロを根絶しなければなりません。

しかし報復戦争は、テロ問題解決に有効でないばかりか、世界に新たな戦争と巨大な被害をもたらすものです。アメリカをはじめ世界各国で、報復が報復をよぶことを懸念し、理性ある対応をもとめる声が強まっています。

いま世界が一致してやるべきことは、法にもとづく裁きです。国連が中心になり、国連憲章と国際法にもとづいて、テロの容疑者と支援者を裁き、厳正に処罰するため、協力して事件の真相究明など努力をつくすべきです。

ところが日本政府は、テロ根絶への真剣な検討もないうまま、アメリカの報復戦争に参加し、自衛隊の海外派遣をおこなおうとしています。憲法第九条をふみにじり、いつそ危険な状況をつくりだすようなことを、絶対にすべきではありません。

以上の立場から、次のことを強く求めるものです。

(請願項目)

- 一、同時多発テロ糾弾、報復戦争反対、世界が力をあわせ「法の裁き」でテロを根絶すること。
- 一、戦争に参加する自衛隊派兵の新法反対。憲法第九条を守ること。

氏名	住所

取り扱い団体 全国労働組合総連合 東京都文京区湯島一四四

〒113 8462 電話〇三 五八四一 五六一一(代表)

衆議院議長 綿貫民輔 殿

参議院議長 井上 裕 殿